



2019年 明けまして おめでとうございます

2019年 新年 明けましておめでとうございます。読者の皆様には旧年中は大変御世話になりました。市政に関する事へのアドバイスは勿論、国政、県政、更には住民の身近な悩みなど多くのご意見を頂きました。一つ一つの取り組みを大切に、本年も、がんばりたいと思います。年頭に当たり、決意を新たにしております。

本年は、年度の途中であった市長選挙を経過し、1月1日から柴橋市政の正式の1年目の年となります。前市政の残存はまだあるものの、前市政に原因を求める事の出来ない新年となりました。「政策総点検」で岐阜市民が生活に良い変化を感じられる年となるように願っています。

2018年11月議会である代表質問者が、「昨年当選された柴橋市長」と発言し、議場から「今年だ」と訂正される場面がありました。市長選挙後の激変が、発言者に錯覚を起こさせたのかもしれませんが。前市政の忘れ去られる事の速さも感じたところです。

細江政権とのたたかい16年

松原のりかず は初当選が95年でした。はじめの2期は浅野市政で、この時期は議会活動の基本を勉強させて頂きました。当時は（故）船戸清議員にノウハウを教えられました。船戸事務所にも良く伺いました。

浅野市長が辞任され選挙となり、この選挙で松原のりかず は、森川助役（当時）を推薦して市長選挙をたたかいました。推薦理由はいくつかありますが、弁護士出身の誠実対応を評価しました。職員の労働条件対応も一つでした。

この市長選挙は敗北し、「三井物産の海外経験の豊富」とふれ込みの細江市政の誕生となりました。当初のふれこみが、議会を経過するごとに、そのメッキが剥げて行ったのを覚えています。陣営を共にせず、おかげで庁内を歩けると思った事もありました。

森川候補、浅野候補、浅野候補、そして柴橋市長と4期16年間は細江政権とのたたかいです。中日新聞記者の「浅野市長はさすが教育現場出身です。金の話しは無かった。」とのコメントを今でも思い出します。

「岐阜過労死をなくす会（仮称）」

正会員・サポーター登録について（依頼）

この会は、過労死で夫（岐阜市職員）を亡くした伊藤左紀子さんを中心に、岐阜での過労死をなくすために活動しようという思いを同じくする方々をつなげるために発足（準備会）しました。活動内容は ①過労死等防止の啓発活動 ②過労死遺族の支援・精神的ケア ③自治体を中心とした労働時間・ハラスメント等の実態調査

3月16日に発足総会を予定し、より多くの方々にサポーターとしての協力をいただき、発足準備期間としたいと考えます。市議・県議・弁護士・医師・労働組合役員・経営者等の方々に多数参加いただきたいと思います。過労死をなくすという思いを実現するために幅広い活動をしたいと思っております。（正会員会費・年1口 1000円）

（問い合わせ先 **岐阜過労死をなくす会事務局** 080-4940-1685）

結 成 集 会（発足総会）

2019年3月16日（土）14:30~16:30

ハートフルスクエアG岐阜 大研修室

会 長 伊藤 左紀子（伊藤 哲さん 夫人）（予定）

過労死案件訴え 岩井羊一 弁護士

過労死案件報告 内記惇司 県職委員長

記 念 講 演 小倉 謙 さん

目的及び事業（第3条） この会は、主に岐阜県内における過労死を出さない取り組みを進める。また、過労死事案がでた場合はこれを支援し、働く者とその家族が安心して生活できる環境を実現されることを目的とする。（予定規約）



松原のりかず
☎058-253-2500